

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

上に立つリーダーこそ謙虚たれ 井上 礼之（ダイキン工業会長）

1. 「歴史の転換点」とも言える変革の時代にある中、リーダーは自ら挑戦するとともに、挑戦しようとするメンバーに対し、より多くのチャンスを与えなければならない。一方挑戦しつ続けるリーダーこそ、謙虚であることを心がけなければならない。私がこれからのリーダーにメッセージを送るとすれば、「上に立つリーダーこそ謙虚たれ」という言葉だ。
2. 謙虚さとは、注意してくれる人をありがたいと思うこと、他人が真剣に意見を述べているのを真摯に受け止めようとする事だ。同時に、自分の考えを伝えて、心から納得してもらうまで努力する。相手の意見と自分の考えを比べ、五分五分だと思ったら、相手の意見を取り入れる。そういうものがリーダーシップにおける謙虚さだ。「今の自分に謙虚さが欠けてないか」と常に自分を戒めることができれば、どんな仕事に携わっていても、視野は限りなく広く持てるものだ。それが信じられたら、謙虚に聞く耳も付いてくる。周囲の声を取り入れ、多面的に知識や知恵を吸収することができるようになる。
3. 人はリーダーになろうとしてリーダーになるのではない。熱い思いを実現しようと試行錯誤を重ねて後ろ姿を見て、周りの人がその人をリーダーとして認めるようになるのだ。人間の能力そのものにはさほど大きな違いはない。熱意を持って挑戦し続けられるかどうかで大きな違いが生まれるのだと思う。この壁を乗り越えた人が真のリーダーになれるのである。（参考：「日経ビジネス」2018年7月2日号）

経営者のための経済学

データ蓄積の重要性は小さい産業にも及ぶ

柳川 範之（東京大学大学院教授）

1. 近年はマクロ的な構造要因により、この規模の経済の働き方に大きな変化が生じている。その一つは、人工知能の発達やデータ解析の進展である。比較的知られるようになったとおり、人工知能は大量のデータによって学習していく。そのためデータが集まれば集まるほど、うまく機能する。データ解析全般においても、データ規模が大きいほど、有利に働くタイプの技術革新が起きている。
2. 今まで規模の経済効果で強く働くと考えられていた産業はもちろん、そうでない産業においても必要な発想転換である。なぜなら、データ蓄積の重要性は、今まで規模の経済効果が比較的小さかった産業にも及ぶからだ。

（参考：「週刊東洋経済」：2018年6月16日号）

ワンポイント経営アドバイス

出処進退の正しい判断

数土 文夫（JFEホールディングス特別顧問）

1. 出処進退の判断を過たないためには、私利私欲から離れ、いまの自分の価値を客観的に見るのが大切です。そして、その眼を養う上で有効なのが、対話、議論、討論です。古代ギリシャのソクラテスは、弟子との対話、市民との対話を通じて真理を追究しました。同様の試みは孔子によっても行われており、洋の東西を問わず、対話、議論、討論が真理に至る重要なプロセスであることを先人は教えてくれています。
2. 我が国においても、適塾の緒方洪庵、松下村塾の吉田松陰、さらには札幌農学校のクラーク博士など、対話を通じて優れた人材を輩出した指導者は多数存在します。彼らに共通するのは、常に相手と同じ目線に立って、対等に語り合う姿勢を貫いていたことです。（参考：「致知」2018年9月号）

古典に学ぶ

任せられる人物は少ない

（解説）青年のうちには、大いに仕事したいが、頼みにゆく人がないとか、援てくれる人がないとか、見てくれる人がないとか嘆つ者がある。なるほど、いかなる俊傑でも、その才能胆略を見出す先輩なり世間なりがなかったら、その手腕を施すによしないことだ。しかし先輩が安心して任せられる人物は少ない。

（参考：渋沢栄一「論語と算盤」：国書刊行会）